

## 平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホーブ

コード番号 1382 URL <http://www.hob.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 政場 秀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 吉田 周史

TEL 0166-83-3555

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	658	△8.2	△64	—	△63	—	△66	—
28年6月期第1四半期	717	△14.7	△69	—	△65	—	△54	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 △65百万円 (—%) 28年6月期第1四半期 △54百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	△86.63	—
28年6月期第1四半期	△70.87	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
29年6月期第1四半期	1,106	72.6	803	72.6	—	—	1,053.99	
28年6月期	1,175	73.9	868	73.9	—	—	1,140.34	

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 803百万円 28年6月期 868百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,984	17.3	155	253.9	155	206.2	135	3,383.2	177.62
通期	5,040	12.4	115	—	116	—	99	—	130.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期1Q	762,000 株	28年6月期	762,000 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

29年6月期1Q	75 株	28年6月期	75 株
----------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期1Q	761,925 株	28年6月期1Q	761,925 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策を背景に緩やかな回復傾向が見られましたが、アジア新興国の景気減速やイギリスのEU離脱問題等の国内景気への影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「ペチカプライム」「ペチカサンタ」に加え、新品種「夏瑞／なつみずき」(品種登録申請名「ペチカほのか」)の販売を本格的に開始し、いちご果実及びその他青果物の販売拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高658,624千円(前年同期比8.2%減少)、営業損失64,742千円(前年同期は営業損失69,961千円)、経常損失63,472千円(前年同期は経常損失65,003千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失66,006千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失54,001千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (いちご果実・青果事業)

いちご果実・青果事業は、当社と株式会社ホープ21が行っております。当第1四半期連結累計期間のいちご果実販売におきましては、主に自社品種と輸入いちごを併用した販売を行っております。

主力となる自社品種においては、7月中下旬より出荷量が一時的に増加することを想定し、業務用だけでなく、加工用などの新たな販路の開拓を行うとともに、食味の良い新品種「夏瑞／なつみずき」(品種登録申請名「ペチカほのか」)を生食用としての販売を展開してまいりました。しかしながら、業務用の販売数量の減少と9月の自社品種の出荷数量の落ち込みによって、販売数量を抑制したことで、売上高、利益ともに前年を下回りました。

その他の青果物については、既存取引先のアイテム縮小などにより取扱量が減少することとなりました。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は503,225千円(前年同期比12.2%減少)、営業損失は27,913千円(前年同期は営業損失17,106千円)となりました。

## (種苗事業)

種苗生産販売事業は、自社いちご品種の「ペチカプライム」と「ペチカサンタ」に加えて、新品種の「夏瑞／なつみずき」(品種登録申請名「ペチカほのか」)と「コア」(品種登録申請名「ペチカエバー」)を含めた4品種の種苗を生産販売しております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年春から秋にかけて果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し夏から秋にかけて果実を生産する春定植の、概ね2体系の作型があります。当第1四半期連結累計期間におきましては、秋定植用苗を販売しております。

前年同期と比べて、新たに秋定植を始める生産者がいたものの、全体としては高齢化による栽培休止や規模縮小の影響により、苗販売数量は約3%の減少となりました。

この結果、種苗事業の売上高は7,455千円(前年同期比2.4%減少)、営業利益は1,811千円(前年同期比27.7%減少)となりました。

## (馬鈴薯事業)

馬鈴薯事業は、株式会社ジャパンポテトが行っております。主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなり、主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第1四半期連結累計期間は、主に秋作種馬鈴薯販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間は、種馬鈴薯の販売は、九州産の供給が不足したことで販売数量が確保できず、売上、利益とも前年同期を下回りました。しかし、青果馬鈴薯の販売は、関東産加工原料の販売が良好であったため、馬鈴薯事業全体としては売上、利益とも前年同期を上回ることができました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は127,728千円(前年同期比8.0%増加)、営業利益は2,824千円(前年同期は営業損失4,040千円)となりました。

## (運送事業)

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で、当社の商品配送を中核としつつ、一般荷主からの配送業務受託も積極的に展開しております。当第1四半期連結累計期間は、新たな食品関連の配送の受託ができたことに加え、自社配送原価の抑制を図り、提携業者並びに共同配送業者との連携を密にした配送を進めたことにより、売上高、利益とも前年同期を上回ることができました。

この結果、運送事業の売上高は20,214千円(前年同期比9.4%増加)営業利益は3,325千円(前年同期は営業損失545千円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して64,189千円減少し、当第1四半期連結会計期間末で826,832千円となりました。これは売掛金が減少したことが主因であります。

## (固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して4,425千円減少し、当第1四半期連結会計期間末で279,949千円となりました。これは有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産が減少したことによるものであります。

## (流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して5,514千円増加し、当第1四半期連結会計期間末で186,328千円となりました。これは未払法人税等が減少したものの、買掛金が増加したことが主因であります。

## (固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して8,339千円減少し、当第1四半期連結会計期間末で117,392千円となりました。これは退職給付に係る負債が減少したことが主因であります。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して65,790千円減少し、803,061千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の73.9%から72.6%となっております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業においては、第2四半期連結会計期間に主力商品の最需要期を迎えることから、第2四半期連結会計期間に売上高・売上総利益が偏る傾向があり、現時点で連結業績予想を見直す状況に至っていないため、平成28年8月10日の「平成28年6月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。ただし、今後、業績予想に変更が生じた場合には必要に応じて見直しを行います。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## (税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

## (3) 追加情報

## (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	453,624	430,837
売掛金	278,674	224,020
たな卸資産	56,344	82,497
未収還付法人税等	1,482	—
その他	101,202	89,666
貸倒引当金	△306	△188
流動資産合計	891,022	826,832
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	108,947	107,210
機械装置及び運搬具(純額)	41,991	40,575
土地	70,111	70,111
その他(純額)	1,290	1,176
有形固定資産合計	222,341	219,074
無形固定資産		
のれん	20,950	20,251
その他	2,080	2,025
無形固定資産合計	23,030	22,277
投資その他の資産		
その他	40,430	40,024
貸倒引当金	△1,426	△1,426
投資その他の資産合計	39,003	38,597
固定資産合計	284,375	279,949
資産合計	1,175,398	1,106,782
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	96,746	114,057
未払法人税等	14,312	1,242
賞与引当金	1,767	7,242
その他	67,987	63,786
流動負債合計	180,814	186,328
固定負債		
退職給付に係る負債	41,083	33,090
役員退職慰労引当金	81,560	81,202
その他	3,088	3,099
固定負債合計	125,732	117,392
負債合計	306,546	303,720

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	432,250	432,250
利益剰余金	15,834	△50,171
自己株式	△90	△90
株主資本合計	869,244	803,238
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△392	△176
その他の包括利益累計額合計	△392	△176
純資産合計	868,851	803,061
負債純資産合計	1,175,398	1,106,782

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	717,540	658,624
売上原価	574,957	527,316
売上総利益	142,583	131,308
販売費及び一般管理費	212,544	196,050
営業損失(△)	△69,961	△64,742
営業外収益		
受取利息	352	315
貸倒引当金戻入額	4,230	117
受取補償金	137	409
その他	237	426
営業外収益合計	4,958	1,269
営業外費用		
その他	0	0
営業外費用合計	0	0
経常損失(△)	△65,003	△63,472
税金等調整前四半期純損失(△)	△65,003	△63,472
法人税等	△11,001	2,533
四半期純損失(△)	△54,001	△66,006
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△54,001	△66,006



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△54,001	△66,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△228	216
その他の包括利益合計	△228	216
四半期包括利益	△54,229	△65,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△54,229	△65,790
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果事 業	種苗事業	馬鈴薯事業	運送事業			
売上高							
外部顧客への売上高	573,191	7,642	118,222	18,484	717,540	—	717,540
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	36,307	36,307	△36,307	—
計	573,191	7,642	118,222	54,792	753,847	△36,307	717,540
セグメント利益又は損失 (△)	△17,106	2,506	△4,040	△545	△19,185	△50,775	△69,961

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△50,775千円には、セグメント間取引消去253千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△51,028千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果事 業	種苗事業	馬鈴薯事業	運送事業			
売上高							
外部顧客への売上高	503,225	7,455	127,728	20,214	658,624	—	658,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	38,253	38,253	△38,253	—
計	503,225	7,455	127,728	58,468	696,878	△38,253	658,624
セグメント利益又は損失 (△)	△27,913	1,811	2,824	3,325	△19,952	△44,789	△64,742

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△44,789千円には、セグメント間取引消去115千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44,905千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。